

## プログラム(予定)

### ◆招待講演

1. 「いのちの看取りの物語(仮)」  
神居文彰(平等院住職)
2. 「スポーツ振興を通じた健康増進とPHR(Personal Health Record)の構築(仮)」  
阿部達也(公益財団法人日本バスケットボール協会 参与・㈱ヘルステック研究所代表取締役)

### ◆特別講演

1. 「プレジジョン・メディシン(ゲノム医療)(仮)」  
中村祐輔(内閣府戦略的イノベーション創造プログラム ディレクター)
2. 「医療とビッグデータ革命(仮)」  
門田守人(日本医学会長)
3. 「未来の病院をデザインする～イノベーションを引き起こせ(仮)」  
神野正博(董仙会 恵寿総合病院 理事長)
4. 「医療とビッグデータ(仮)」  
厚生労働省(予定)

### ◆教育講演

1. 「SDGs(持続可能な開発目標)について(仮)」  
炭谷 茂(恩賜財団済生会理事長)

### ◆シンポジウム

1. 「医療と介護のビッグデータ戦略(仮)」  
座長：山口直人(恩賜財団済生会)  
(1) 「医療ビッグデータの構築と活用」  
持田勇治(恩賜財団済生会)  
(2) 「介護ビッグデータの構築と活用」  
田宮 奈々子(筑波大学医学医療系教授)  
(3) 「医療と介護の連携」  
松田晋哉(産業医科大学医学部公衆衛生学教授)  
指定発言
2. 「医療に活かすビッグデータ(仮)」  
座長：永井良三(自治医科大学学長)
3. 「食を支える地域づくり(仮)」  
座長：荒金英樹(愛生会山科病院消化器外科部長)  
(1) 「京滋摂食嚥下を考える会の活動に小児障害児の支援活動の紹介」  
和田智仁(歯科医 徳地歯科医院)  
(2) 「京都、大阪を中心とした高齢者、障がい者の生活支援活動」  
山下和典(作業療法士 NPO法人Life is beautiful)  
(3) 「多職種連携のプラットホーム(仮)」京都の伝統職人より  
小料理屋：長谷川 真岐(京料理松長 女将)  
京料理：園部真吾(山なほ平八茶屋 若主人)  
伏見の酒：松味利晃(北川本家)  
京焼・清水焼：森野彰人(京都市立芸術大学)

4. 「医療福祉連携士制度の10年を振り返って、現状と課題及び将来展望(案)」

座長：中村起也(広南病院神経内科)

#### (1) 基調講演

「医療介護連携政策の最近の動き(案)」

眞鍋 馨(厚生労働省 老人保健課長)

#### (2) シンポジスト

① 「制度を運営する立場から」

大久保 一郎(横浜市衛生研究所長)

② 「医療福祉連携士からの視点」

下村 裕見子(北里大学大学院)

③ 「病院管理者からの視点」

佐藤四三(姫路赤十字病院院長)

④ 「福祉関係者からの視点」

中山美恵(忠岡町健康福祉部地域福祉課)

#### (3) 特別発言

「医療福祉連携の推進に取り組む学会としての思い」

宮崎久義(日本医療マネジメント学会理事長)

#### (4) 総合討論

### ◆市民公開講座

「医師として、がん体験者として、そして妻をがんで亡くした夫として(仮)」

垣添忠生(日本対がん協会会長)

## 開催報告

### 分科会

#### 2018年度医療安全分科会に参加して

堺若葉会病院内科 喜田裕也

「医療安全と臨床倫理は、患者を中心とした共通ベクトルがあるはずなのに、時に対立し、医療安全管理者はトレーニングを受けてい



会場風景

ないにもかかわらず、応じざるを得ない場合がある悩ましいテーマ」との呼びかけで、「医療安全に求められる臨床倫理的視点」をテーマとした医療安全分科会が開催された。

話題提供では、「医療安全政策と最新動向」、「身体拘束を巡る医療安全と臨床倫理」、「見落とし・遅れ・誤診診断関連エラーという未開拓地」があった。

臨床倫理と医療安全を合わせて進める取り組みでは、「倫理コンサルテーションチームの活動と看護部との連携(横浜労災病院)」、「医療安全と臨床倫理の協同と棲み分け(宮崎大学)」からの報告があった。またワーク